



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部



発行人：雨森 正記
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055
E-mail jpc@ a-youme.jp
HP primary-care.or.jp/primarycare-kinki/

ニュースレター No.34 (2021.12)

報告：第34回日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会 開催！

三澤 美和(大阪医科薬科大学病院 総合診療科/高槻市)

2021年11月28日、「地域から輝け 総合診療の挑戦！」をテーマに完全オンラインで開催されました。当日は800名を超える方々にご参加いただき、大きなトラブルなく終わられましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。今回、コロナ禍～アフターコロナを見据えたテーマの数々や、健康格差、セクシャルヘルス、移行期医療、学生研修医のためのドクターG企画、Difficult Patient、さらには適々齋塾からのオニマツぶった斬り！など、地方会とは思えないような充実したラインナップでお送りできたのは、ひとえに大阪府支部実行委員のメンバーの企画力と、各企画をご準備いただいた演者・座長・発表者の皆様のおかげと考えております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今回のテーマの数々を見ましても、総合診療・家庭医療の領域がいかに幅広く、高いポテンシャルで様々な個人～社会全体の問題に取り組んでいるかがお分かりいただけると思います。オンラインではありましたが、当日多くの方々の熱い気持ちに触れ、私たち総合診療、家庭医療、プライマリ・ケアに関わる者はまた自信をもって、これからも前に進んでいけると確信しました。

大会長講演ではなんとスライドなしでお話をする鈴木大会長の姿がありました。前日は準備（構想）のため15分しか寝ていないにも関わらず、講演は多くの人に響いたようで大きな反響をいただきました。リアルな対面はかなわなくても、コロナ禍に負けずオンラインでいかに充実した学会を作るかという挑戦が、実を結んだのだと思います。

今回当日ご参加いただけなかった方も、当日並行していた企画を見逃した方も、12月23日からは1ヶ月間のオンデマンド配信もございますので、引き続きお楽しみいただければと思います。この大会をきっかけに、大阪の、そして近畿全体の総合診療・家庭医療がもっとももっとつながり、盛り上がっていくことを祈念しています。



特集1：近畿の話題（今回は、奈良からです）

日本プライマリ・ケア連合学会 奈良県支部総会 第5回奈良地方会の御報告

吉本 清巳（奈良医大総合医療学／奈良市）

2021年4月から、奈良県支部の支部長を務めております、奈良医大総合医療学の吉本清巳です。2021年10月31日に、オンラインで奈良県支部総会、ならびに第5回奈良地方会を開催しましたので、報告いたします。

2020年はコロナ禍のため、総会も地方会も開催できず、2年ぶりの開催となりました。総会では、新支部長就任の挨拶、2019年度2020年度の事業報告、会計報告、2021年度の事業計画、予算の報告を行いました。

総会終了後、第5回奈良地方会を行いました。

今年度は、「プライマリ・ケアに関わる多職種のコロナ禍の現状」というテーマで、演題を発表して頂きました。

演題は6演題で、

- [1] 発熱外来における急性上気道炎への抗菌薬適正使用の取り組み 市立奈良病院 森田貴英先生
 - [2] 当院での外来抗がん剤治療におけるコロナ感染症対策について 奈良県総合医療センター 血液・腫瘍内科 外来化学療法室 小林真也先生
 - [3] 新型コロナワクチン接種におけるプライマリ・ケア診療所での実践 健生会大福診療所 塩尻祐哉先生 朝倉健太郎先生
 - [4] 無床診療所で経験した特別養護老人ホームでの新型コロナウイルス感染症のクラスター事案について 奈良市都祁診療所 佐々木貴太郎先生
 - [5] 新型コロナウイルス感染症の実際の診療と、施設間の連携により終末期にタブレット面会と直接面会が同時に実現した一例 奈良県立医科大学附属病院 総合診療科 上谷沙織先生
 - [6] 行政・医療マネジメントの視点から捉えたコロナ禍とプライマリ・ケアの将来像 公益財団法人 天理よろづ相談所 法人事務局 企画準備室／白川分院 在宅世話どりセンター 奈良県 医療政策局 嘱託医 次橋幸男先生
- の6施設から発表いただきました。

プライマリ・ケアの現場では、それぞれの立場で、新型コロナへの関わり方が違っており、興味深い発表が多くありました。発熱外来での抗菌薬適正使用や、化学療法室での対応、ワクチン接種など最前線で工夫されながら診療をされている発表もあり、また、40名を超える施設でのクラスター事例や、大学病院での実際のコロナ診療、行政や保健所の業務に嘱託医として携わっておられた発表は、現場でないと知り得ない苦労を知ることができました。

オンライン開催ではありましたが、43名の参加がありました。多くの現場の事例を共有でき、第5波が収束し少し新型コロナも落ち着いた状況ではありますが、第6波に備えた非常に有意義な地方会となりました。



特集 2 : 2022 年 2月23日 P-FES 開催決定 !



2021 年度 運営委員 飯野 貴明 (葛西医院/大阪市)

ポートフォリオ作成に悩む専攻医はもちろん、毎年添削に苦勞する指導医の先生も対象です！例年は近畿ブロックのプログラムに所属する専攻医が一堂に会し、ショーケースポートフォリオ口頭発表会の場としていた近畿家庭医療・総合診療専攻医ポートフォリオ発表会ですが、昨年度に引き続き、2022 年 2 月 23日(水・祝)にオンライン形式、P-FES で実施することとなりました。

発表者は JPCA 近畿ブロックの家庭医療・総合診療専攻医、コメディカルのみ対象ですが、近畿ブロック以外の全国の皆様にも「視聴者」として 2 月 22 日まで申し込みいただくことが可能となっております。詳細は下記申し込みフォームをご参照ください。

是非、多くの皆様にご参加いただき、with コロナ時代の新しいポートフォリオ発表会の形を作り上げたいと考えております。何卒よろしくお願ひいたします。申し込みやお問い合わせなどについては下記のフォームから宜しくお願ひ致します。

<https://p-fes2021.peatix.com/>

発表者チケット : 1000 円 登録申し込み期限 : 12 月 28 日

視聴者チケット : 1000 円 視聴申し込み期限 : 2 月 22 日

※発表希望者 (詳細事例提出) は近畿ブロックの専攻医/多職種に限定させていただきます。

※視聴のみの参加も大歓迎です。順次詳細が決まったら報告させていただきます。

1. 発表希望者 (詳細事例提出が必要) チケット締め切り : 12 月 28 日 (火) まで
2. 詳細事例登録締め切り : 1 月 16 日 (日) まで
3. 当日発表者決定 : 2 月 4 日 (金) 頃

※詳細事例は新・家庭医療専門医のフォーマット、提出方法は後日連絡

※詳細事例の事前評価者・特別講師チケットはこちらで個別に案内させていただく方のみご購入をお願いします。

※学生・初期研修医は無料です。

報告 : 代議員会

長 哲太郎 (ファミリークリニックなごみ/大阪市)

先日行われた近畿地方会と同日の 12 時半~13 時半、近畿ブロックの代議員会が完全オンラインで開催されました。これまでの形式に従って、雨森先生の開会あいさつに始まり、地方会の報告を鈴木大会長にいただきました。奈良県支部の

吉本先生からは、次年度の地方会について、現地+オンラインのハイブリッド形式を模索し、予算と相談していきたい旨を話していただきました。また今年度の取り組みとしては、兵庫プライマリケアカンファレンスの報告を一瀬先生、ポートフォリオ発表会の概要についての報告を合田先生にして頂きました、ニュースレターの取り組みも長からさせていただきました。

朝倉先生からは、近畿の高名な先生方に、ざっくばらんなインタビューを行い、ポッドキャストで配信するというアバンギャルドな取り組みについて報告してもらいました。また、近畿固有の取り組み（合同オリエンテーション、地方会のブラッシュアップセミナー、ポートフォリオ発表会）を有機的につなげ、今後の近畿の専攻医を点だけじゃなく、線、いや面で、近畿全体で成長してもらう枠組み「up to the 3rd power」についても報告してもらいました。川島先生からは、専攻医よりも下の世代、研修医、医学生に対するアプローチを抜本的に強化して、総合診療のすそ野を広げたい旨をお話してもらいました。

全体を通して、討議が紛糾しエキサイトする場面こそありませんでしたが、新たな取り組みについての報告も多く、活気のある代議員会になりました。

報告：第7回 多職種キャリアアップ研究会（滋賀県）

佐々木 隆史（医療生協こうせい駅前診療所／湖南市）



今年で7年目、滋賀支部主催の多職種キャリアアップ研究会の報告です。医師40名ほど含む80名を超える方にご参加いただきました。

今年は、コミュニティナースからみた新たな多職種連携「市民のおせっかい心で繋ぐ地域の健康づくり」ということで、Community Nurse Companyの中澤ひろさんに来ていただきました。コロナで変わってしまった人々のつながり方、関係づくりをどのように実践しているかをお話しいただきました。地方ならではの強いつながりをどう再構築していくか。「地域おせっかい会議」という様々なテーマで様々な人とつながっていました。郵便局やスーパー、そしてスナックと多様な活動の場も魅力でした。



また当多職種キャリアアップ研究会が作り上げた、12職種別の「コロナ禍で変わったこと、変わってほしかったが変わらなかったこと」のスライドをベースに、コミュニティナースとして地域とのかかわりの中で得た経験を織り交ぜて、ディスカッションを行いました。



実体験することも大切にしている当研究会。ベロ回し体操を歯科衛生士さんに、肩回し体操を理学療法士さんに指導していただき、体操の効果を実感してもらいました。

そして、最近少なくなった多職種でのSGD。「明日に活かす!! コロナ禍事例の共有」として、コロナ後の希望など明るい話題を中心に語り合ってもらい、盛り上がりました。

その他

●近畿ブロックのレジェンドたちのライフヒストリー&感動秘話

- # 1 石丸裕康 先生
- # 2 木戸友幸 先生



- # 3 中山 (畔田) 明子 先生
- # 4 雨森正記 先生
- # 5 鈴木富雄 先生
- # 6 松井善典 先生
- # 7 竹中裕昭 先生
- # 8 三澤美和 先生 (近日配信予定!)

をゲストに迎え、順調にポッドキャスト収録が進んでいます。
ぜひ一度お聞きください。

●近畿ブロックの研修ブラッシュアッププロジェクト ~up to the 3rd power~

2021年11月の代議員会で報告あったように、up to the 3rd power という、専攻医の研修を近畿全体でシステムティックにサポートし、一人ぼっちの専攻医を作らないプロジェクトを始めました。現在、担当理事は長で、メンバーは稲岡雄太先生、朴大昊先生、田中いつみ先生で開始しております。プロジェクトに興味がある、関わりたいという方、ドシドシ連絡ください。次回のミーティング日程は、2022年1月18日21時~です。

連絡先はこちらです。<https://forms.gle/kiVioQdp5CA86jTN6>

[支部からのご連絡] **ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております!**

近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました!

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)

→ 詳細は、上記ホームページをご参照願います。

ホームページ担当：梶原信之